

直轄河川改修事業の進捗状況

令和7年5月20日
国土交通省中部地方整備局
天竜川上流河川事務所
浜松河川国道事務所

天竜川(上流部)

天竜川水系河川整備計画（R6.7変更）での直轄河川改修事業（上流部）の内容

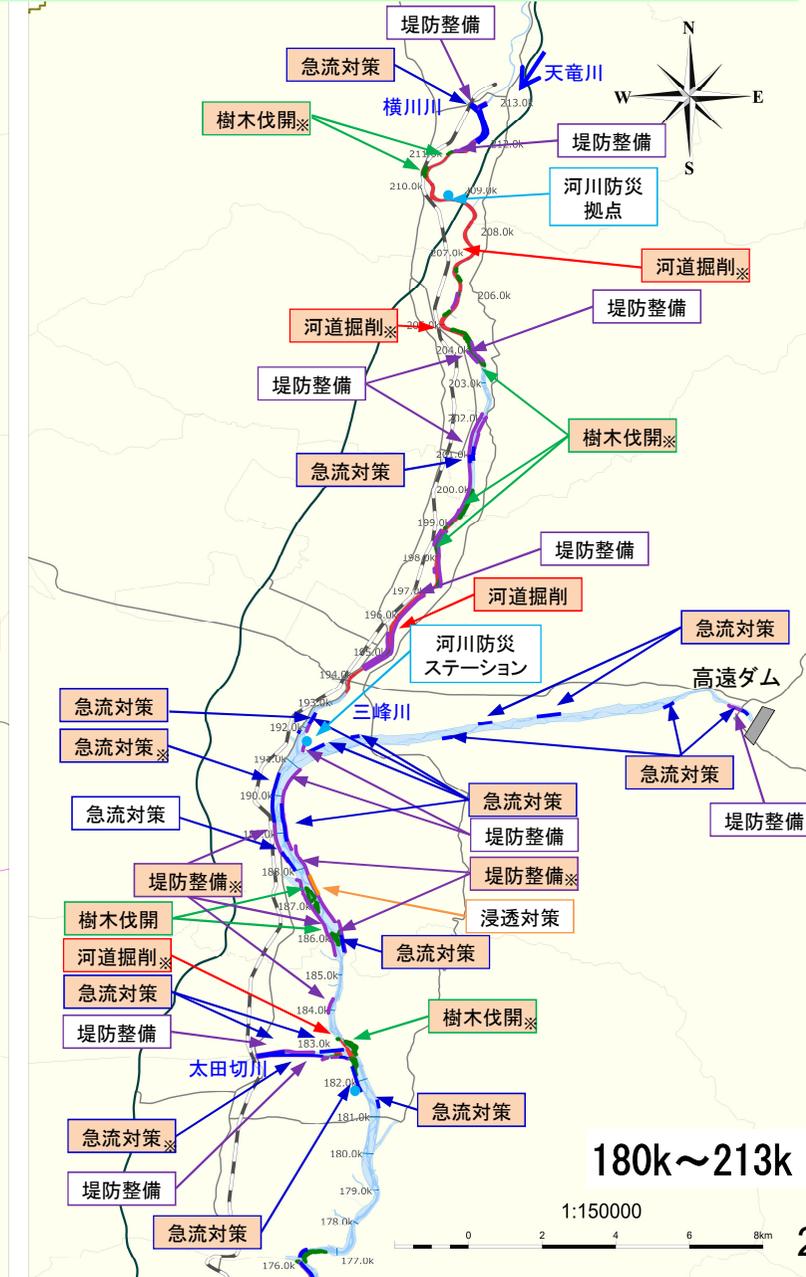
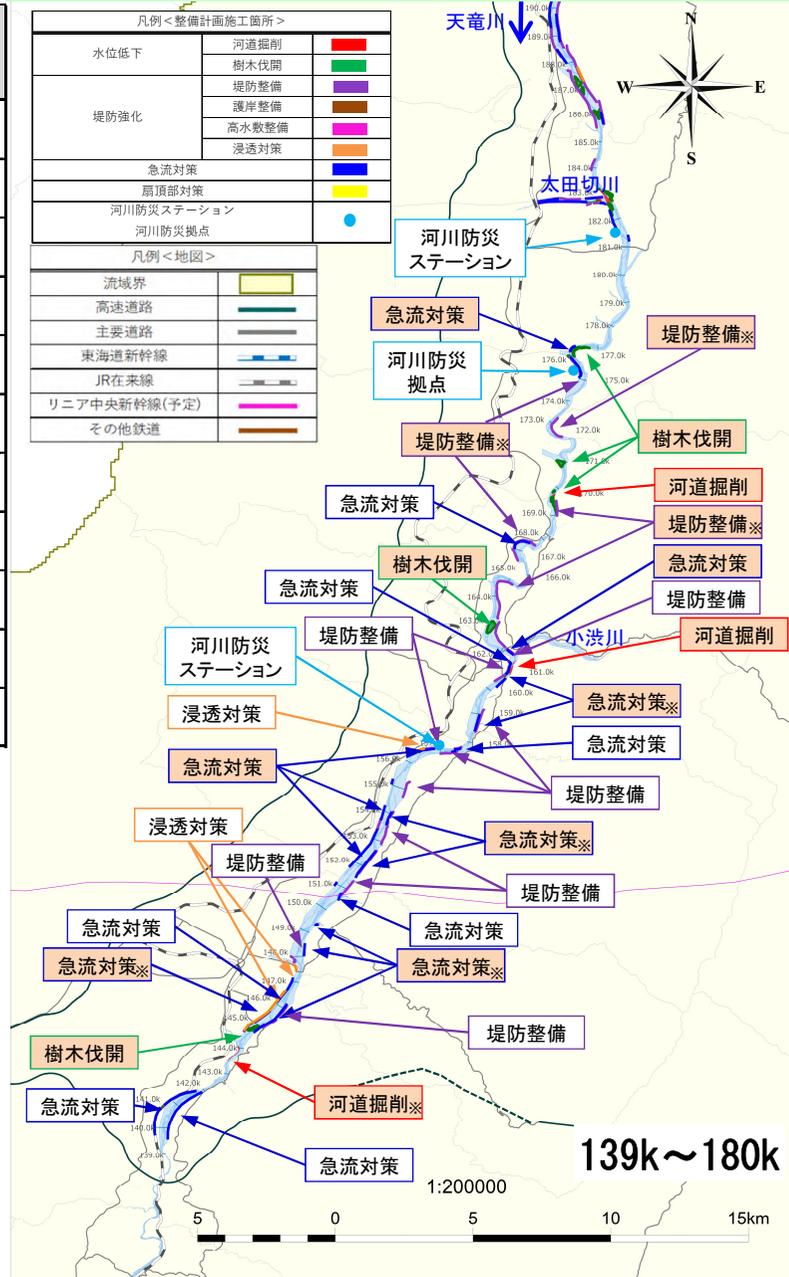
●上流部

■上流部では、水位低下対策（河道掘削・樹木伐開）や堤防強化（堤防整備、浸透対策）、急流対策等を実施していきます。

主な事業の内容

整備項目		単位	上流部
水位低下	河道掘削	万㎡	145.6
	樹木伐開	ha	41.7
堤防強化対策	堤防整備	万㎡	102.6
	護岸整備	万㎡	
	浸透対策	km	3.8
	高水敷整備	万㎡	
	扇頂部対策	(浸透) km (護岸) 万㎡	
急流対策	(護岸・基礎工) 万㎡		21.3
	(根固工) km		26.1
危機管理対策	河川防災ステーション 河川防災拠点	か所	5

変更整備計画の主な整備メニュー位置図(上流)



■ : 気候変動対応分
※ : 気候変動対応の事業箇所が旧整備計画の残事業箇所を含む

主な河川改修事業（上流部）の実施状況

●整備内容〈堤防整備・MIZBステーション整備【山吹地区】〉

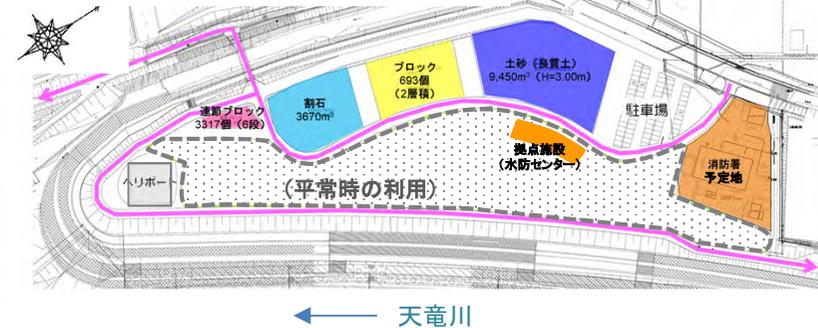


やまぶき
山吹地区堤防整備事業・MIZBステーション整備事業（R7年1月現地状況）

平常時の利用（高森町作成イメージ図を加工）



緊急時の利用（イメージ図）



- 堤防高が不足する箇所の築堤と併せて防災拠点（MIZBEステーション、消防署）を一体的に整備することで**地域全体の防災力を向上**させます。
- また、**災害時と平常時両面の機能**を併せ持つ『MIZBEステーション』は、洪水時における緊急復旧活動等の拠点となる河川防災ステーションの機能に加え、賑わいの創出や地域活性化に資するエリアを有します。

■防災機能（災害時）

堤防決壊時の緊急復旧活動、災害復旧資材の備蓄、水防活動等の拠点、災害時の避難場所。

■地域連携機能（平常時）

高森町では、「天竜川高森かわまちづくり計画」に沿って、国スポ開催に向けたカヌーコースなどハード面の整備とあわせ、平常時はこのスペースを水辺への関心や賑わいを高めるようなイベントなどを実施する拠点施設として使用する予定。

天竜川（中流部・下流部）

天竜川水系整備計画（R6.7変更）での直轄河川改修事業（中流部・下流部）の内容

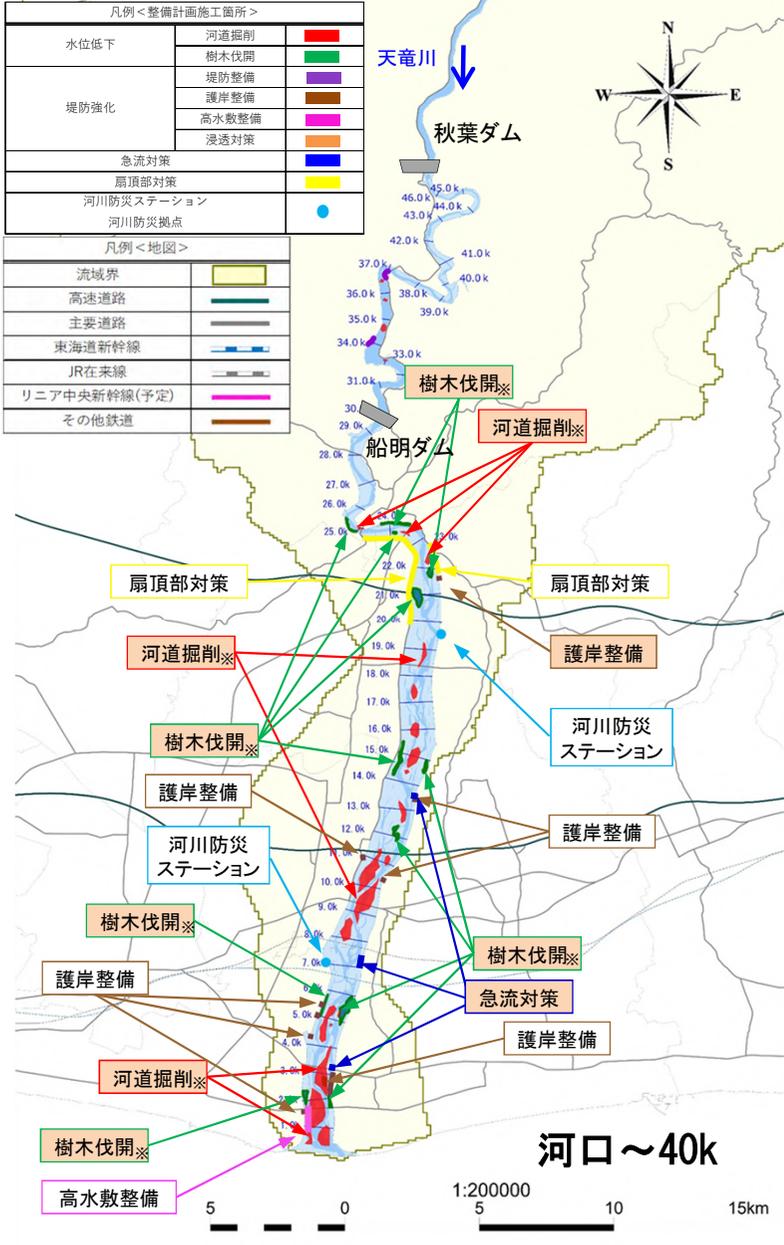
●中流部・下流部

■ 中下流部では、水位低下対策（河道掘削・樹木伐開）や堤防強化（堤防整備、浸透対策、扇頂部対策）等を実施していきます。

主な事業の内容

整備項目		単位	中流部 下流部
水位低下	河道掘削	万m ³	391.7
	樹木伐開	ha	61.8
堤防強化対策	堤防整備	万m ²	28.0
	護岸整備	万m ²	1.0
	浸透対策	km	
	高水敷整備	万m ²	18.5
	扇頂部対策	(浸透) km	2.4
		(護岸) 万m ²	3.7
急流対策	(護岸・基礎工) 万m ²	1.2	
	(根固工) km	0.8	
危機管理対策	河川防災ステーション 河川防災拠点	か所	2

変更整備計画の主な整備メニュー位置図(下流部)



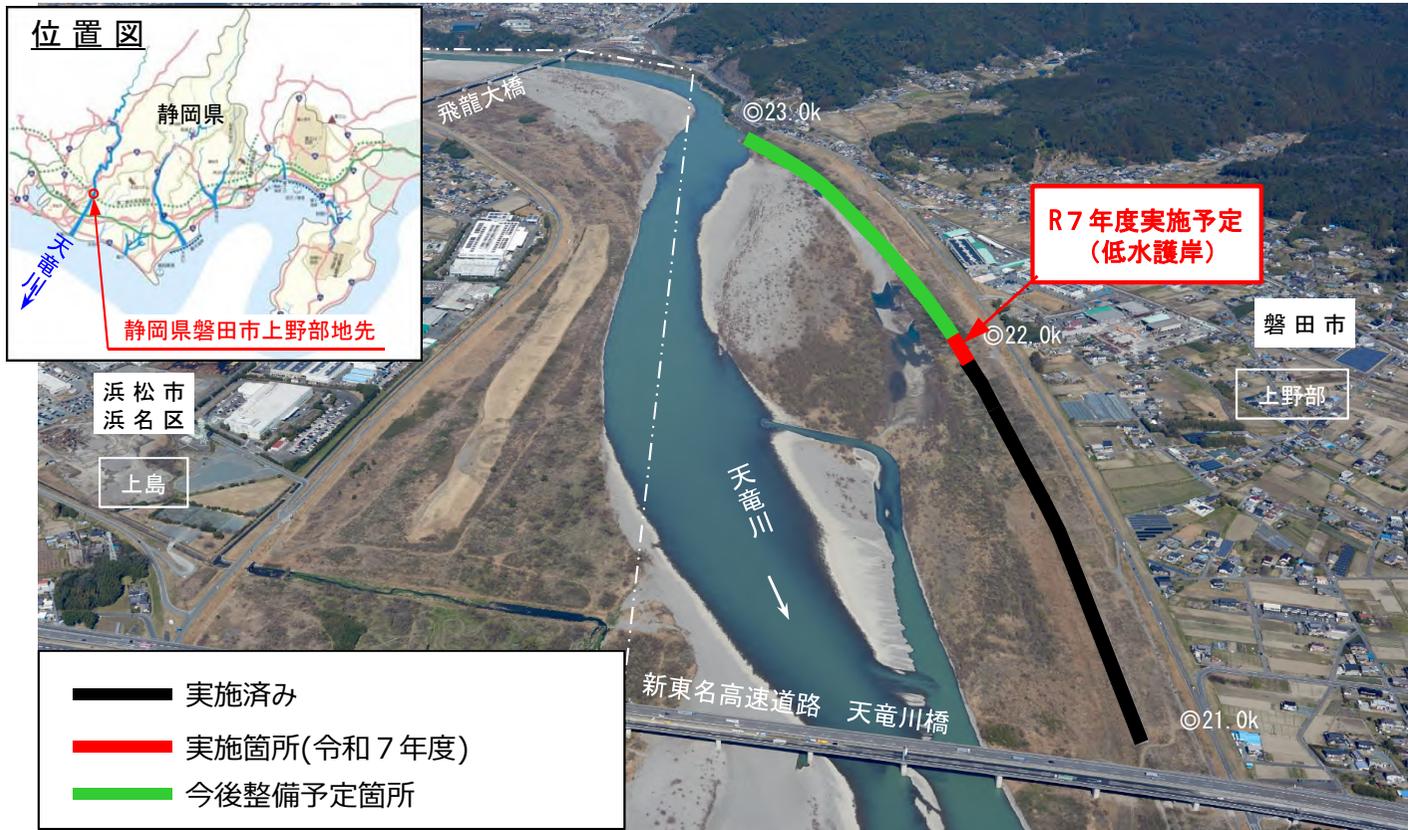
変更整備計画の主な整備メニュー位置図(中流部)



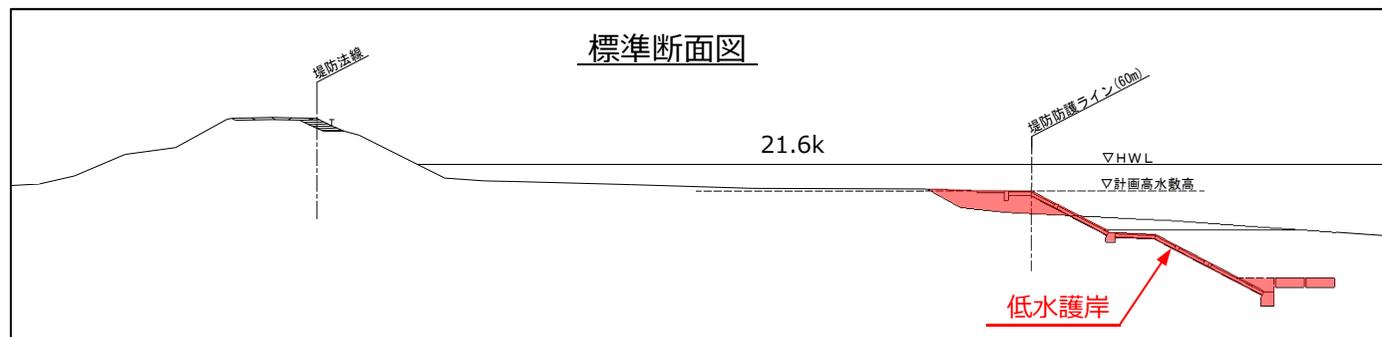
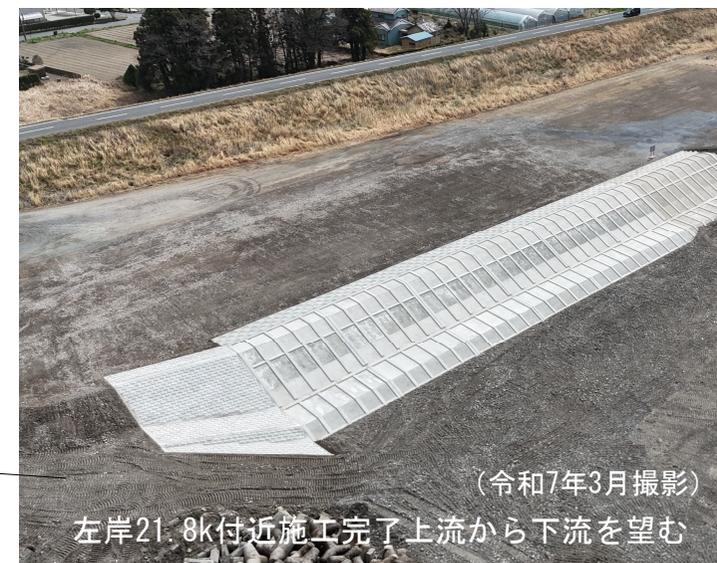
■ : 気候変動対応分
※ : 気候変動対応の事業箇所が旧整備計画の残事業箇所を含む

主な直轄河川改修事業（下流部）の実施状況（扇頂部対策）

- 天竜川下流部の鹿島地点から下流は、天竜川を流下した土砂の堆積により形成された扇状地となっており、その扇状地の上端となる扇頂部では水衝部となっている箇所があります。
- 資産が集中する浜松市、磐田市等下流域の甚大な被害を防止するために、低水護岸を整備して堤防強化を行います。
- 令和7年度は、上野部地区(22.0k付近)の低水護岸整備を実施します。

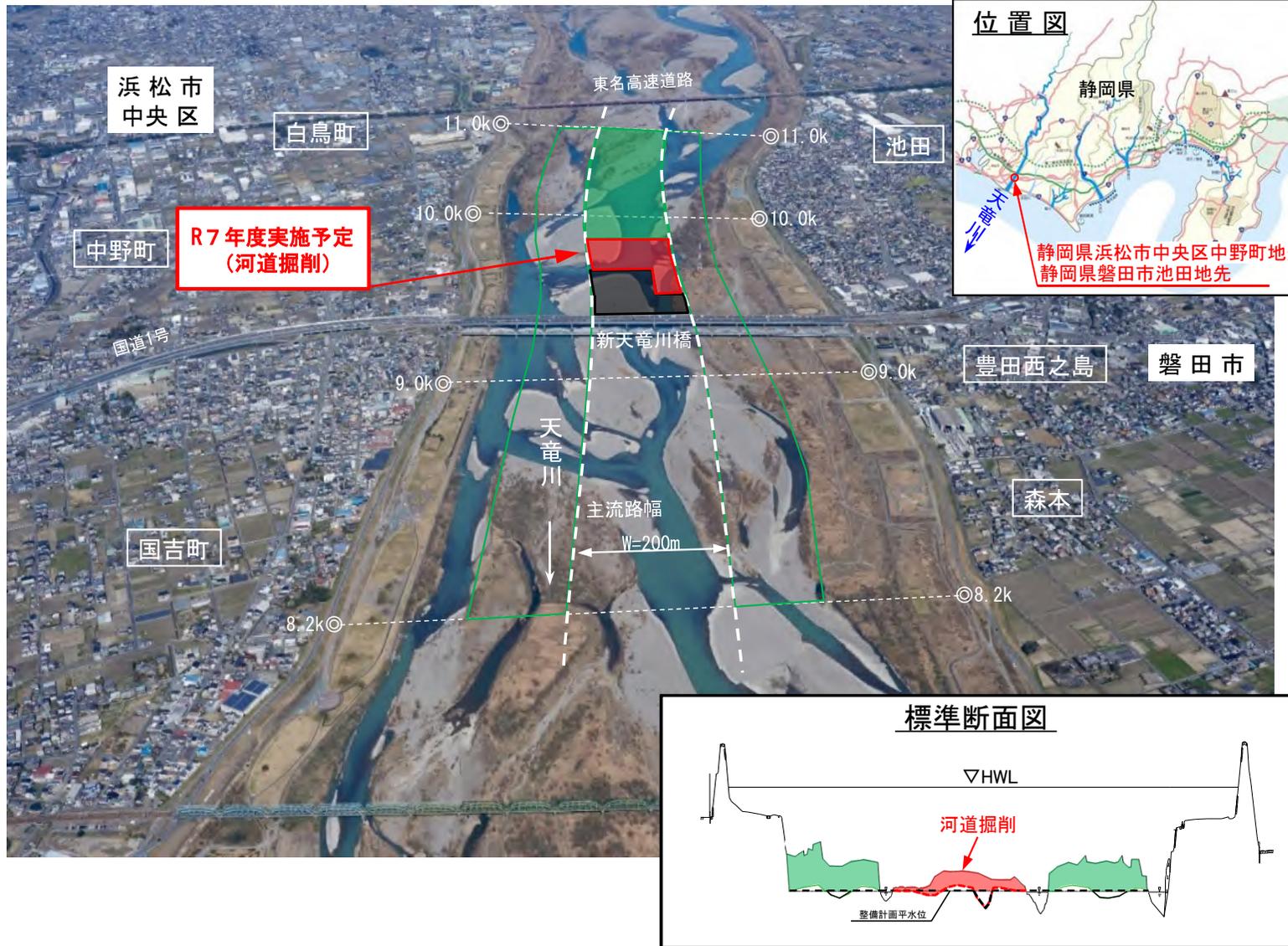


■ 低水護岸整備（上野部地区）



主な直轄河川改修事業（下流部）の実施状況（河道掘削）

- 河川整備計画目標流量14,400m³/sを安全に流下させるために必要な河道断面を確保するため、水位低下対策として河道掘削を実施します。
- 掘削した土砂は海岸事業の養浜材や磐田市における防潮堤事業に利用します。
- 令和7年度は、中野町・池田地区(9.8k付近)の河道掘削を実施します。



■ 河道掘削の様子（池田地区）



- 実施済み
- 実施箇所(令和7年度)
- 今後整備予定箇所